会 議 録（会議経過含む）

会議の名称	19年度第4回 由利地域協議会
開催日時	平成20年 2月 12日(火) 午後1時～5時
開催場所	善隣館 ホール
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	「名簿」のとおり
会議次第	
1. 開 会 13:00～	
2. 由利地域協議会長あいさつ	
<p>今回の会については、急な日程の変更もあり欠席者が多くなりましたが、出席して頂いた委員の皆様には御難儀をかけました。重要な案件で日程の変更もやむを得ないとの判断で今日の日程に変更した次第でありご理解をお願いしたい。最近どこに行っても財政の厳しさが話題になっている。また合併した旧町では一極集中の心配がされている。由利本荘市の状況を見ても基金が合併時に36億あったのが今は7億程度になっている。公債比率18.3パーセントの件についても様々な話が出ており住民がよく理解していない現状である。市側からもっとわかりやすい説明等が必要と思われる。私も集落などの会合においては出来るだけ説明している。さて、この地域協議会は、合併することで住民が行政サービスの低下など不安を抱くことに対し、地域住民の不安解消のために設置したことが一番の意義である。合併により変化を強いられる地域住民がどのような不安を抱いているのか？どの位、どういった所に不安を抱いているのかを理解して、少しでも解消していくために尽力していかなければならない。しかし、回を重ねるごとに欠席者が多くなってきているのは残念でならない。</p> <p>先日の新聞で秋田市の100人会の記事が掲載されていたが、1年間活動して一つのアンケートを実施し、回収率も悪いとのことで何のために会をつくったのかとの記事であった。また、土崎のアンケート結果説明会でもたった3名の出席者であったとのこと。合併時の意義を再認識し、我々も気をつけながら尽力していかなければならない。</p>	
3. 案件 ～進行：佐藤千秋会長	
議事録署名人を板垣繁委員、佐藤イネ子委員にお願いします。	
組織機構改革及び施設の見直しについて ～鷹照副市長（別紙1により説明）	
（A委員）本荘、鳥海の地区公民館が地区館に位置づけとなるが、現在の職員数と今後の職員数は？	
（回 答）現在は3名の体制。地区館になれば各地区の状況を把握・精通した方を非常勤の施設長にお願いしたい。職員は公民館主事の1名を検討している。水回りのお手伝いなどの賄いは非常勤として考えている。	
（A委員）公民館活動は現場に向いて生涯学習を行うなどある程度の人員は必要では？	
（回 答）公民館活動に支障をきたさないようにしていきたい。	

- (B 委員) 指定管理者制度について、老人福祉施設についての見直しは特にないのか？
- (回 答) 合併後検討に入っています。岩城の広洋苑を民間に移行できないかなど検討している。しかし正職員の身分の保障、配置の問題がある。派遣対応で検討しているが派遣は5年間しかできない。人事配置の件で方法論を探っている。
- (B 委員) 広洋苑の経営は特別会計か？一般会計からの繰り入れは？
- (回 答) 特別会計である。繰り入れは臨時職員でしのいでいる状況。
- (C 委員) 教育事務所は一つの課になるが、人数は今のままか？
- (回 答) 現在は、人事体制等人員は各地域様々である。基本的に事務量は同じであり同じような体制、人員で検討している。
- (A 委員) 2月5日に各地域協議会正副会長に対し説明会が行われた。前日に急な動員であったが、それぞれの地域から代表者等が集まって様々な意見が出されていた。どうもやり方が経費の削減のみにとらわれており、もっとやることあるのではないか？削減だけでなく市の将来、展望が必要と思う。市政懇談会で話したが農業は基幹産業であるのに今後どうとらえていくのか？南由利原の施設についても廃止するのは簡単だが、やり方次第で生き延びるのではないか？
- (回 答) 出張所廃止などは、住民の生活に密着している事項なので、難しく時間の掛かる問題である。本荘地域でも50年かけて廃止する方向。少子高齢化、交通網の再構築を地域感情が先にたち、綱引きだけでは市の発展につながらない。一体的にしていかなければならぬ地域間感情は無くしていかなければならない。色々な改革のために提案している。
- (D 委員) 南由利原の施設も指定管理者制度を検討するとのことであるが、ゆりえもんの指定管理者制度と同じように市でお金を出すような指定管理になるのか？
- (回 答) まだこのような話題にはなっていない。温泉施設は健康施設、福祉施設であり地域では必要な施設でありお金を出している状況。温泉施設についてはそれをすぐにやめることはない。ペンション四季その他の南由利原の施設は冬期間休業とした。指定管理者等に希望する者がいたとしても委託料は出さない方向。
- (E 委員) 職員の削減3年で100人、10年で目標700人。早期退職はなしで平成26年度までは何人か？
- (回 答) 10年で452名の退職者予定。
- (E 委員) 出張所廃止に伴う郵便局でのサービスは7月からとあったが、もっと早くできるのではないか？
- (回 答) 今年に入ってから折衝したため7月になる。
- (E 委員) 教育課、生涯学習課を統合し、班で分ける理由は？
- (回 答) 統合しても支障がないため。
- (E 委員) 現状と各出張所、公民館などを廃止した場合の差額は？
- (回 答) 約2億5千万円の削減を見込んでいる。
- (E 委員) 将来的にスノーモビルも矢島スキー場で実施するとのことでしたが、新にコースを作るとまた経費が掛かるのでは？
- (回 答) 一連のスキー場問題を整理してから考えていくことになる。

(F 委員) 出張所廃止の件について、各種証明を郵便局へ委託する場合の委託料は？

(回 答) 処理件数とも連動する。確定はしていない。

(F 委員) スノーモビルランドを矢島スキー場に持っていくとのことであるが、いつ頃か？

(回 答) スキー場問題が解決した時点で集客力を見込み集中配置できないか検討する。
将来的には一体化していくことが、点から面になる観光施設としたい。

(G 委員) 施設運営の見直しは必要である。特に観光施設等は長く息が続かない現状。

継続した趣向をこらした P R が大事であり、宮崎県知事は野球チームをつくり背番号に地元産の物を P R しているなど、アイデアがすごい。市は P R 不足でありもっと P R をしてはどうか？施設も全部税金で建てたもので、廃止し壊すのも全部税金であり、P R して集客を図り見直しにならないようにしていくことが大事ではないか？

(回 答) おっしゃるとおりです。県民性というか自己主張が足りないと思う。

最初にアイデアを出していけるような体制が必要。施設を作るということは減価償却、維持管理費等も掛かっていくこと。将来に向けて色々な施設の修繕が掛かってくるが、斬新な考えで対応していかなければならない。

(E 委員) 郵便局で各種の証明書を発行することになれば情報処理システムで繋がることになるのか？その際個人情報などの守秘義務等はどうなっているのか？

(回 答) F A X 方式で実施する。イントラの接続はなし。郵政会社は守秘義務があり個人情報保護は大丈夫である。

(E 委員) オコジョランドスキー場は廃止ということでしたがひも付きの借金は無いのか？

(回 答) ひも付きの借金はなし。一部市が借りている土地がありその方との話はしなければならぬ。

(A 委員) 公債比率が厳しいとの説明であったが、合併前には合併特例債が有効的で心配しなくてもやっていたとの話であったが、今は状況が変わったのか？

(回 答) まちづくり計画で前期に特例債による事業が集中している。過疎債は 2 1 年度までの時限立法であるが、現在この法律の延長を求めている。
今のところ特例債は順調に消化されている。

(佐藤会長) 予定の時間になりましたので、まとめとして述べさせていただきますが、計画等の見直し、機構改革など住民に関わることについては、住民の意見を始め十分な議論が不可欠であり、市としては早めの情報発信をお願いしたい。

休 憩

1 4 : 4 5 ~

ここで鷹照副市長、佐々木理事、小松総務部次長、佐藤商工観光部次長は退席。

さくら満開のまちづくりについて ~ 振興課佐藤主査 (別紙 2 により説明)

・さくら満開のまちづくり事業の目的、経過、今後の予定などを説明した後、由利本荘市さくら 1 0 0 選の由利地域選定箇所について説明。

(C 委員) 1 9 年度の選定ということだが 2 0 年度はまた新に選定することになるのか？

(回 答) 今回は 1 9 年度の 1 0 0 選となっている。

(D委員)各地区10箇所の選定であるが由利地域ではこの10箇所の他に何カ所拾い上げたのか?また、柴倉山など集落の方しかわからない隠れた名所もあると思われるが、今後も拾い上げていくことになるのか?

(回 答)19年度は日程的に時間がなく、桜の開花時期に写真撮影する作業もあったため、総合支所内各課に聞き取りしながら拾い上げた。別紙の地図にあるとおり由利地域では38箇所拾い上げし、桜を撮影した経緯である。柴倉山や吉沢の山にも名所があるとのことでしたので、他にも集落住民しかわからない名所があると思われます。いい名所があれば情報をお知らせして頂ければ拾い上げて撮影し追加していきますので、よろしくお願いします。

(佐藤会長)100選に掲載する由利地域の10箇所は、案にある場所でもよろしいでしょうか?

(委員全員)異議無し。

由利地域集落要望事項の概要について ~ 振興課佐藤主査(別紙3により説明)

・全体概要を説明し、重点箇所については現地を実際に視察することを説明。

質問は特に無し。

(佐藤千秋)ではここで会議は閉会します。

15:10

事務局から今後の日程説明を願います。

(事務局)それではこれから別紙4に記載の場所を視察します。玄関前にバスが待機していますので、3時20分に出発いたします。時間まで乗車をお願いします。

以下 視察(別紙視察状況写真による)

終了 17:10

出席者名

(敬称略)

会 長	佐藤 千秋	副市長	鷹 照 賢 隆
副会長	徳 山 洋 一	理 事	佐々木 永吉
委 員	佐藤 利明	総務部次長	小 松 浩
委 員	板 垣 繁	商工観光部次長	佐藤 良夫
委 員	佐藤 イネ子	支所長	渡 邊 昌 平
委 員	木 内 進	振興課長	鈴 木 久 男
委 員	佐藤 時男	教育事務所長	三 浦 眞 一
委 員	木 内 鉄 男	産業課長	莊 司 和 夫
委 員	畑 中 喜 輝	市民課長	佐藤 孫 栄
委 員	佐藤 かう	建設課長	鎌 田 正 夫
委 員	須 田 昭	福祉保健課長	土 田 修
委 員	矢 萩 富 貴	生涯学習課長	木 内 恵 一
議 員	村 上 亨	振興課主席参事	鈴 木 甚 悦
議 員	高 橋 信 雄	振興課主席参事	三 浦 貞 一
		振興課振興班長	佐藤 弘 幸
		振興課振興班	小 松 輝 臣